

地域医療構想の推進支援業務提案書作成要領

広島県が実施する「地域医療構想の推進支援業務」に関し、プロポーザル参加者が提案書を作成するために必要な事項は次のとおり。

プロポーザル参加者は、「公募型プロポーザル説明書」及び「仕様書」を確認の上、作成要領により、必要な書類を提出するものとする。

1 提出書類

- (1) 提案書提出届【様式4】 1部
- (2) 提案書一式 正本1部、副本10部
 - ア 表紙（様式の指定なし）
 - イ 提案書
 - ウ 受託事業を実施するための社内体制等（様式の指定なし）
 - エ 地域医療構想の推進支援等に関する実績書（様式の指定なし）
 - ※ 正本に係る電子媒体（PDF形式）及び副本に係る電子媒体（PDF形式）各1式も合わせて提出すること。
- (3) 業務委託見積書（様式の指定なし） 1部

2 提案書の様式等について

- (1) 表紙

任意様式とするが、様式右肩に、参加資格確認通知の際にあわせて通知する提案要請記号（アルファベット）を記入すること。
- (2) 用紙

原則として、A4判両面使用（必要に応じA3折込みも可）とし、縦置き横書き（横綴じ）とすること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えないものとする。
- (3) ページ番号

ページ番号は目次を除き通し番号とし、各ページの下部中央に印字すること。
- (4) プロポーザル参加者名の無記載

審査の公正を期すため、提案書の副本10部には、事業者名、住所、ロゴマークなど公募型プロポーザル参加者を特定できる表示を付さないこと。なお、受託事業を実施するための社内体制等には、プロポーザル参加者名を「当社」と記載すること（企業名は記載しない）。
- (5) 業務委託見積書

本業務の実施に要する費用の内訳（項目、数量、単価、金額等）を明らかにした見積書を提出すること。